

令和5年度 学校評価アンケート結果及び評価

会津西陵高等学校 学校評価委員会

- 1 実施時期 10月
- 2 調査対象 生徒、保護者、教職員
- 3 質問項目

質問項目を設定するにあたっては本校の学校経営運営ビジョンを念頭に検討した。

質問項目1は、本校の教育目標の目指す生徒の将来像についての質問である。質問項目3、5、6、7、8は、学校経営・運営ビジョンで示された目標を反映させたものである。

なお、結果及び評価については本校のホームページにおいて公開する。

質問項目		関連
1	本校は、「郷土を愛し、活力ある地域づくりに貢献できる人物」を育てる学校である。	教育目標について
2	本校は、安心して学校生活を送ることのできる学校である。	学校安全について
3	本校は、基礎学力を身につけさせる十分な教育を行っている。	基礎学力について
4	本校は、適切な課題を与えるなど、家庭学習の習慣が身につくように指導している。	学びに向かう姿勢・態度を育む教育
5	本校は、地域や社会の仕組みを理解し、課題解決に必要な知識を身につける教育を実践している。	地域理解・課題解決力を育む教育
6	本校は、授業でICTの活用やその使い方の教育について積極的に取り組んでいる。	ICT活用能力を育む教育
7	本校は、情報を収集・分析し、自分の意見をまとめ他者に伝える力を育てている。	意見をまとめ・発信する力を育む教育
8	本校は、社会の課題に対し、他者と協力し、粘り強く取り組む姿勢を育てている。	課題に向かう姿勢・態度を育む教育
9	本校は、基本的な生活習慣（時間を守る、あいさつ、服装）を確立させる指導を行っている。	基本的な生活習慣の指導
10	本校は、生徒の悩みや不安に親身になって相談に乗っている。	教育相談の充実
11	本校は、学校での必要な情報をよく知らせて、家庭と密接な連絡を取っている。	家庭と学校との連携
12	本校は、生徒の進路希望に応じた適切な進路指導を行っている。	進路指導の充実
13	本校には、必要な図書、資料が用意され、閲覧できる環境が整っている。	図書館の充実
14	本校は、環境美化に努め、校内の清掃が行き届いている。	環境美化
15	本校は、学校行事が充実している。	学校行事の充実
16	本校は、部活動や生徒会活動に積極的に取り組んでいる。	部活動、生徒会活動の充実
17	本校は、ボランティア活動を積極的に推奨している。	ボランティア活動の奨励
18	本校は、探究学習や行事等をとおして地域との連携を十分に図っている。	地域との連携の充実
19	本校は、PTA活動に積極的に取り組んでいる。	PTA活動の充実
20	本校は、学校をよく理解してもらうために、適切な広報活動（HPの活用など）を行っている。	広報活動の充実
【評価】 4：よくあてはまる 3：あてはまる 2：あまりあてはまらない 1：まったくあてはまらない		

4 質問項目と校務分掌との関連

校務分掌に関して全ての部署に関わる質問を設定し、校務運営改善につながるようにした。

●：直接的な関連あり ○：間接的な関連あり

質問 校務分掌	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
HR	●	●	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●		○	○	○	○	○	○	
教科	●		●	●	○	●	●	○	○	○		○	○							
教務部	●		●	●	○	●	●	○				○			●					●
保健厚生部	●	●								●				●			○			
生徒指導部	●	●							●	●	○	○			●	●	●			
進路指導部	●		○	○			○		●		○	●			●					
図書部	●		○	○	○								●							
企画開発部	●		○	○	●	●	●	●					○		○			●		
総務部	●	○																	●	○
委員会	●								●				●	●	●	●	●			○

5 調査概況

(1)調査方法 オンライン (Classi) 上での回答または調査票による回答

(2)回答率

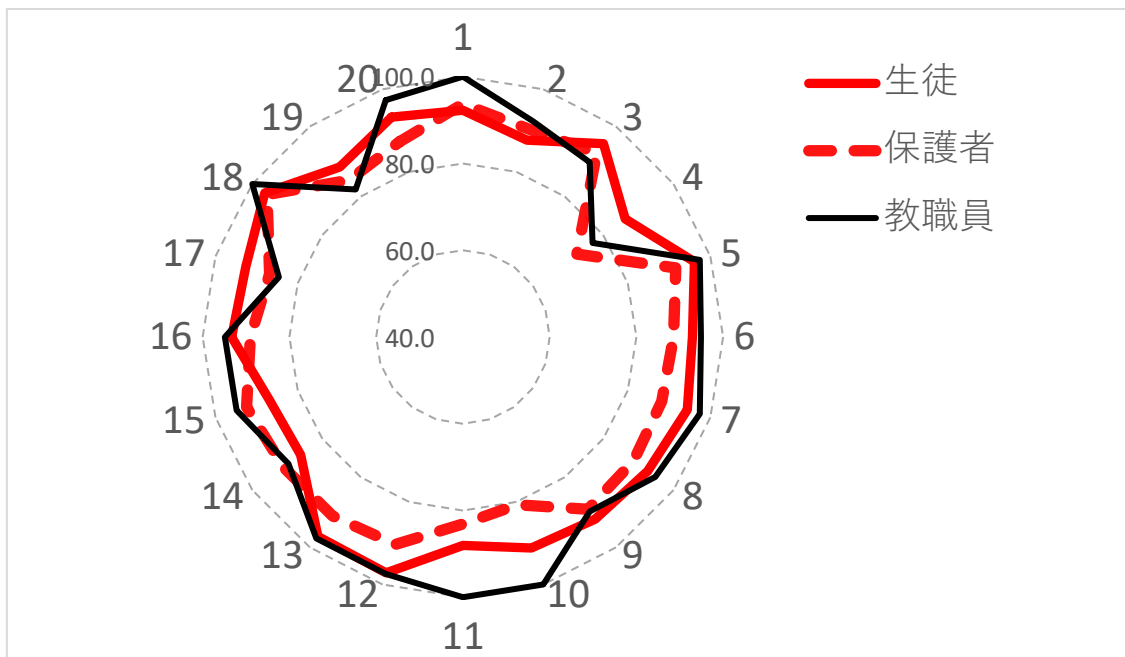
	対象者数	回答者数	R5 回答率%		R4 回答率%
生徒	284	284	100	※休学除く	98.4
保護者	284	238	83.8		80.7
教職員	39	39	100		100

6 結果と評価

(1)評価4と3を合わせた肯定的評価の「①アンケート結果」、「②乖離状況」、「③前年度比較」の結果

質問	①アンケート結果 (評価4+3) ※単位%			②乖離状況 ※単位ポイント		③前年度比較 (R5-R4) ※単位ポイント		
	生徒	保護者	教職員	生徒 (生徒-教職員)	保護者 (保護者-教職員)	生徒	保護者	教職員
1 本校は、「郷土を愛し、活力ある地域づくりに貢献できる人物」を育てる学校である。	92.3	93.7	100.0	-7.8	-6.3	0.6	-0.6	2.5
2 本校は、安心して学校生活を送ることができる学校である。	87.7	90.3	92.3	-4.6	-2.0	-3.7	-4.0	-5.2
3 本校は、基礎学力を身につけさせる十分な教育を行っている。	95.1	92.4	89.7	5.3	2.7	0.1	-2.7	-7.8
4 本校は、適切な課題を与えるなど、家庭学習の習慣が身につくように指導している。	86.3	72.5	76.9	9.4	-4.5	-3.7	-7.2	-13.1
5 本校は、地域や社会の仕組みを理解し、課題解決に必要な知識を身につける教育を実践している。	96.1	91.6	97.4	-1.3	-5.8	2.1	0.5	-0.1
6 本校は、授業でICTの活用やその使い方の教育について積極的に取り組んでいる。	92.9	88.6	94.9	-2.0	-6.3	-2.1	0.3	-5.1
7 本校は、情報を収集・分析し、自分の意見をまとめ他者に伝える力を育てている。	94.4	88.2	97.4	-3.1	-9.2	0.4	0.0	2.4
8 本校は、社会の課題に対し、他者と協力し、粘り強く取り組む姿勢を育てている。	92.6	88.6	94.9	-2.3	-6.3	-1.7	-1.7	2.4
9 本校は、基本的生活習慣(時間を守る、あいさつ、服装)を確立させる指導を行っている。	91.9	89.1	89.7	2.2	-0.7	-0.1	-4.0	-7.8
10 本校は、生徒の悩みや不安に親身になって相談に乗っている。	91.2	80.7	100.0	-8.8	-19.3	0.5	-2.9	2.5
11 本校は、学校での必要な情報をよく知らせて、家庭と密接な連絡を取っている。	88.0	83.1	100.0	-12.0	-16.9	-3.0	1.8	5.0
12 本校は、生徒の進路希望に応じた適切な進路指導を行っている。	97.2	90.3	97.4	-0.3	-7.2	1.2	0.0	2.4
13 本校には、必要な図書、資料が用意され、閲覧できる環境が整っている。	96.8	91.0	97.4	-0.6	-6.4	1.2	-0.8	-2.6
14 本校は、環境美化に努め、校内の清掃が行き届いている。	86.3	91.1	89.7	-3.5	1.4	0.6	0.1	2.2
15 本校は、学校行事が充実している。	87.0	92.4	94.9	-7.9	-2.4	5.0	7.4	4.9
16 本校は、部活動や生徒会活動に積極的に取り組んでいる。	93.3	89.0	94.9	-1.6	-5.9	1.3	1.6	4.9
17 本校は、ボランティア活動を積極的に推奨している。	92.6	86.9	84.6	8.0	2.3	1.6	4.9	-2.9
18 本校は、探究学習や行事等をおとして地域との連携を十分に図っている。	96.5	95.8	100.0	-3.5	-4.2	1.2	2.7	2.5
19 本校は、PTA活動に積極的に取り組んでいる。	88.4	84.7	82.1	6.3	2.6	-0.6	-1.0	-3.0
20 本校は、学校をよく理解してもらうために、適切な広報活動(HPの活用など)を行っている。	93.3	87.3	97.4	-4.1	-10.1	2.6	-1.0	2.4

上記表中の「①アンケート結果」をレーダーチャートで示す。



(2) 評価

①表中の「①アンケート結果」において、肯定的評価が80%未満の項目について

生徒においては、肯定的評価が80%未満の項目はなかった。

質問項目4で、保護者と教職員の回答が80%を下回った。家庭学習の習慣が十分に確立していない現状を、保護者も認識している。授業内での学び方が家庭での学びへ向かう態度に直結することから、自ら学びに向かう態度を育成するため、学びの変革（教職員の授業改善、生徒の学び方改革）に取り組む。

②表中の「②乖離状況」において、10ポイント以上下回った項目について

質問項目10で、保護者の肯定的評価が教職員の肯定的評価を20ポイント近く下回った。保護者との連携・生徒の状況把握が不足しているものと考えられる。一方、質問項目2の「①アンケート結果」での保護者の肯定的評価は高い。信頼と期待に応えるため、保護者との連携を強化し生徒をより一層支援する。

質問項目11と20で、生徒と保護者それぞれの肯定的評価が教職員の肯定的評価を10ポイント以上下回った。学校からの情報は、SNS(学校ホームページ、Classi)を主な手段とし、必要に応じて紙面でも情報の提供を行っている。学校からどのような情報が提供されたのかが伝わっていないこと、学校ホームページの閲覧やClassiの利用状況に個人差があることなどが要因と考えられる。

③表中の「③前年度比較」において、10ポイント以上下回った項目について

質問項目4で、教職員の肯定的評価が前年度の肯定的評価を10ポイント以上下回った。

参考資料として、1年基礎力診断テスト（4月、8月）における学習力の分析結果を示す。

項目	学習力レベル		令和5年度(人)		R4 8月 1年生(人)
			8月	4月	
授業外 学習	5	周囲のひとに教えることもある	1	1	7
	4	宿題や課題以外も学習する	17	21	26
	3	宿題や課題は自分で取り組む	54	50	61
	2	宿題や課題は答えを写す	6	11	10
	1	授業以外は学習しない	4	2	8
定期試験 学習	5	普段から意識+1週間以上前から学習する	4	3	9
	4	試験の1週間以上前から学習する	32	39	38
	3	試験まで1週間を切ってから学習する	35	34	49
	2	前日や当日に教科書などをみる	9	8	14
	1	試験前に学習することはほとんどない	2	1	2

※学習力レベルとは、「生徒の学習へ向かう意欲・姿勢」の定着度を5～1の5段階で把握するための指標。「学習面（出席・授業準備・提出物）」と「教科面（授業理解姿勢・授業外学習・定期試験学習）」の二つの側面からのアンケート回答結果より算出している。

この表中の項目「授業外学習」からは、自ら学習へ向かう生徒は2割ほどしかいないことが示された。

「レベル3 宿題や課題は自分で取り組む」生徒は6割を超えていることから、教職員が適切で効果的な課題を出すことにより、自ら学習へ向かう生徒を増やすことができる。「生徒の学習へ向かう意欲・姿勢」の育成が本校の課題である。普段の学習活動や総合的な探究の時間等をとおして学びを深め、自らの役割を見出し、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる能力や態度を育てられるよう、効果的な教育課程の編成に取り組む。

④回答率について

昨年度は保護者から8割の回答を得るのにおよそ1か月を要したため、今年度はオンライン未回答の70名（25%）の保護者に対し調査票用紙を配付した。回答率は昨年度を若干上回った。

教育活動には保護者の協力と参画が必要不可欠である。普段から教育活動への協力を呼び掛ける。

7 その他

今年度から、各コース（進学探究、教養探究、情報会計、健康福祉）の教育課程がスタートし、コースの特色に応じて、教育活動や各種検定試験の資格取得に向けた取組を積極的に行っている。また、生徒たちは主体的に地域のボランティア活動へも参加し、地域の方々の本校生に対する期待は高まっている。

本校は、今後も「地域の将来を担う、地域の核として社会に貢献できる人材」を育成し、地域の期待に応え、保護者や地域から信頼される学校づくりに努める。